

「市長挨拶」年頭書簡

あけまして
おめでとうございます

丹精込めて作った餅で無病息災を願う

謹んで新年のお慶びを申し上げます。
本年こそ、新型コロナウイルス感染症が
収束することを願いつつ、皆さんにとって
幸多き一年となりますよう、心からお祈り申
し上げます。



地元食材を使った給食



若者と考える
大学のあるまちづくり

クリーンエネルギーで
市内を走るEVバス



地元学生との意見交換会 大学のあるまちを考える



若者の視点で提案(飯田女子短期大学)

学生や若者が飯田市で学びたい、暮らしたいと思える「大学のあるまち」のあり方を考える意見交換会が11月7日に飯田女子短期大学、11日に飯田コアカレッジで開催されました。

学生たちと信州大学新学部誘致推進協議会が、「私たちが大学のあるまちに望むもの」をテーマに、活発な意見交換を行いました。



望むまちの姿を語る(飯田コアカレッジ)

民生委員・児童委員委嘱状伝達式 地域の福祉を支える



地区の代表が市長から委嘱状を受け取る

12月1日、民生委員・児童委員委嘱状伝達式および主任児童委員指名状伝達式が鼎文化センターで開催されました。委員の皆さんは、地域の身近な相談役として活動してください。

い(1)い(1)だやきに(2)く(9) 11月29日は飯田焼肉の日



焼肉を味わうニッチローさん

11月を「飯田焼肉月間」とし、SNS投稿キャンペーンなどを行いました。「飯田焼肉の日」の11月29日には、飯田焼肉大使のニッチローさんが駆けつけ、抽選会などのイベントを盛り上げました。



津田塾大学「津田ヶ谷祭」 学園祭で飯田をPR

学生が制作した水引アクセサリーを販売
津田塾大学千駄ヶ谷キャンパスの学園祭「津田ヶ谷祭」が11月19日・20日に開催され、同大学の学生たちによって「飯田水引」をテーマとした商品販売とワークショップが行われました。

ワークショップでは、飯田市で水引の結び方を覚えた学生らが講師となり、キーホルダーやストラップ作りが行われ、参加者は夢中で制作していました。



飯田水引を体験するワークショップ

リニア駅前広場 駅のデザインを模型で



リニア駅前広場のデザイン検討模型

12月4日、実施設計(土木関係)の成果発表会に合わせ、リニア駅前広場のデザイン検討模型を公開しました。詳細は、広報いいだ2月号の特集でお伝えする予定です。

新文化会館整備検討委員会 リニア時代を見据えて



講師と委員による特別対談

新しい飯田文化会館の整備に向け、「新文化会館整備検討委員会」の第4回目が開催されました。今回は、基調講演やパネルディスカッションが行われ、基本構想の検討に向けた議論を深めました。

現代版 養生訓

脳梗塞で手遅れにならないために
血栓回収術と血栓溶解療法



脳神経外科
まるやま たくみ
丸山 拓実 医師

介護が必要になった原因

として脳卒中の割合は非常に多く、日本においては5人に1人とされています。

脳卒中とは、脳梗塞、脳出血、くも膜下出血の総称で、その7割以上を脳梗塞が占めます。

脳梗塞は、心臓などから飛んできた血栓や動脈硬化が原因で脳の血管が詰まり、その先の脳細胞が壊死してしまふ病気です。20年程前の脳梗塞治療は、保存的治療しか選択肢が無く、脳梗塞が完成して寝たきりになってしまふ方が大半でした。しかし、静注血栓溶解薬（t-PA）や、脳血管内治療（血栓回収術）の導入により、多くの患者さんを救えるようになってきました。特に脳血管内治療機

器の発展は目覚ましく、こ

こ10年で多くの治療道具が新たに導入されています。

血栓回収術により、詰まった太い血管の大半を再開通させられるのが8〜9割、そのうち、自立した生活が送れるレベルまで回復できるのが3〜5割位と、治療成績は年々良くなってきています。

従来、脳梗塞に対する血栓回収術は発症から6時間以内に限定されていました。令和2年3月から症状や画像結果によっては対象が24時間まで延長しました。だからといってゆっくり受診すれば良いのではなく、脳梗塞の超急性期治療が時間との戦いであることに変わりありません。脳梗塞が発症すると、毎分190万

個の脳細胞が失われると言

われています。再開通するまでの時間が短ければ短いほど良いことは明白であり、1分1秒でも早く病院に到着していただきたいです。治療方法の判断はわれわれ医師が行いますので、もし半身麻痺や言葉がおかしい人を見かけたら、直ちに救急車を呼んでください。



飯田市立病院
〒395-8502 飯田市八幡町438
TEL.0265-21-1255

休日や夜間に急な病気やケガをした時は



〈飯田下伊那の救急医療体制〉

夜間は（毎日）

- 休日夜間急患診療所（内科・小児科） …… 午後7時～10時

休日は（日曜日・祝日・年末年始・お盆）

- 休日夜間急患診療所（内科・小児科） …… 午前9時～午後0時30分
- 在宅当番医（内科・小児科・外科・産婦人科） …… 午前9時～午後6時（産婦人科は正午まで）

土曜日はかかりつけ医へ

- 午後休診となる医療機関が多いので、診療時間を確認してください。

重篤な症状の場合は

- 救急搬送… 輪番制二次病院（内科・外科）

休日夜間に受診可能な医療機関がわからないときは…

- 休日夜間テレフォンセンター（音声案内） ☎0265(23)3636

問い合わせ

- 飯田市休日夜間急患診療所（飯伊地区包括医療協議会）
☎0265(23)3636
- 保健課 健康推進係
内線5511



学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.96

地域の魅力を 観光につなげる

立教大学観光学部交流文化学科3年

池田 穂花さん (埼玉県さいたま市出身)

私は、立教大学の『観光インターンシップ』授業の一環で、実習生として1カ月間、地域観光に携わるさまざまな組織や団体の方にお世話になりました。いかにして地域の中にある魅力を観光資源に変えていくのかという視点で、今まさに観光資源化が進められているものや、すでに知名度が確立されているところなど、さまざまな現場を見て学ぶことができました。

南信州を実際に訪れてみると、特産のりんごからシードルを生産して新たな文化をつくろうとする人、当たり前に見ていた星を観光資源と捉え直すことでたくさんの方が訪れている村、地域の自然や住民に着目して体験を売り出す人など、出会う人が増えるほどにたくさんの方が魅力があることに気付きました。

「何もない」地域などどこにもなく、視点を変えることで魅力ある観光資源となり得ることなど、実体験を通して飯田市で学んだことを、今後、観光による地域振興を考える際に生かしていきたいです。



シードル生産者の方と



先月の
佐藤弘子さん(川路)
からのリレー



今がんばっていること

高橋 彩さん (上郷)

私が今頑張っていることは「剣道」です。剣道を始めたきっかけは、父が習い始めて、楽しそうだったからです。始めた時は、基本的な座り方を教わるばかりで「こんなの楽しくないじゃん。」と思っていました。しかし、面や胴などを着装し、いろいろな打ち方を教えてもらおうと、難しいこともたくさんありますが、毎週土曜日の稽古が楽しみになりました。

初めての試合では負けてしまいましたが、冬の審査や来年の大会に向けてたくさん練習をして、もっともっと上手になって、早く父に勝てるようになりたいと思っています。

毎月市民の皆さんに、

①私の健康法 ②感動したこと ③今がんばっていること ④まちづくりへの提言
以上の項目から選んで語っていただき、次の方にボタンタッチする「リレートーク」です。次はあなたの番かも…



篠田 拓実さん
(上郷小学校6年)

ぼくとラグビー

ぼくの将来の夢は、ラグビー選手です。

ぼくは、小学校3年生からラグビーを始めました。今でもラグビーが好きです。特にリーチマイケル選手が好きで、タックルがすごく強くてあこがれます。だから、ぼくもそんな選手になりたいと思っています。

自分をこんな気持ちにしてくれた、リーチマイケル選手と上郷ラグビースクールに感謝しています。

これからも練習をがんばっていきたいです。